

福祉サービス第三者評価基準

【 共 通 版 】

(様式 2)

H27年4月1日改定

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	自己評価結果
I-1-1 (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
1	I-1-1 (1) -① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。
(a)・b・c	
評価概要 入園のしおりに理念・基本方針を記載し、入所前面談や一時保育の利用案内の際に説明をしている。また、職員には行動手帳を通して、理念の浸透を図っている。	

I-2 経営状況の把握

	自己評価結果
I-2-1 (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
2	I-2-1 (1) -① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。
(a)・b・c	
評価概要 各種団体の経営に関する情報提供の把握と参加、また保育園運営に関しては会計専門家や労務専門家との定期会合(月1回)を行っている。	
3	I-2-1 (1) -② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。
(a)・b・c	
評価概要 現状の環境分析を行いながら、企業理念に沿った事業計画の作成を常に心がけている	

I-3 事業計画の策定

	自己評価結果
I-3-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
4	I-3-1 (1) -① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。
(a)・b・c	
評価概要 より良い保育を提供するため、地域のニーズについて分析、検討して中・長期の計画を策定している。	
5	I-3-1 (1) -② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。
(a)・b・c	
評価概要 中・長期の計画を踏まえ、保育の質の向上、施設整備、人材育成について配慮した単年度事業計画を策定している。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	Ⓐ・b・c
評価概要 事業計画については、幹部職員を中心として評価・見直しを行い、ミーティングに置いて改善策を検討している。また、職員への周知・理解については、毎月の全体会を通じて行っている。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	Ⓐ・b・c
評価概要 保育園における各種行事等での説明やホームページでの公告、理事会、第三者委員、職員との会合での説明を行っている。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		自己評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	Ⓐ・b・c
評価概要 質の向上に向け、毎月各クラスで目標を掲げ、目標達成のために計画をしている。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	Ⓐ・b・c
評価概要 毎月のクラスミーティングの資料に自己評価を記載し、職員間で共有し、見直しを行っている。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		自己評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・b・c
評価概要 職員の職務分担表、緊急時の体制を整え、研修等で職員へ表明し、理解を図っている。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
評価概要 必要な研修会などに参加し、法令遵守のために研鑽を深め、園内でもミーティング等を通じて職員への指導を行っている。		

II-1-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>研修等に参加し、サービスの質向上のために研鑽を深め、情報収集を行い、ミーティングを通して職員への還元を行っている。</p>		
13	II-1-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>公認会計士、社会保険労務士等の協力を借りながら、業務をより効率的に行えるように配慮している。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		自己評価結果
II-2-1(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-1(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>社会保険労務士の助言を受け、必要に応じて人材確保を行い、職員がより良い環境で仕事ができるように配慮している。</p>		
15	II-2-1(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>理事長・園長のもとで適切な人事管理を行い、必要に応じて改善を行っている。</p>		
II-2-1(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-1(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>年に1回の面談や個別に相談をもとに、必要に応じて職場環境を改良・改善している。また、社労士と契約をし、必要に応じて助言を受けながらより良い職場づくりに配慮している。</p>		
II-2-1(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-1(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>外部研修会に積極的に参加できる体制を整え、園内でも理念の浸透のため勉強会を行っている。</p>		
18	II-2-1(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>主任・副主任を中心として、職員の意向を重視しながら、外部研修計画を作成し、研修参加者は研修報告の作成と発表を行い、相互理解に努めている。</p>		
19	II-2-1(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>鹿児島市保育園協会の資料を基に、年間での研修計画を作成し、積極的に研修に参加できるようにしている。</p>		

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>実習生を積極的に受け入れ、育成については毎日フィードバックができるように体制作りを行っている。また、マニュアルを作成し、より効果的な実習が行われるように配慮している。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		自己評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>保育園での活動内容については、ブログで外部からも知ることができるようになっている。また、玄関ホールに保育園での様子を掲示し、過去の分についてはファイリングして、いつでも閲覧ができるようにしている。苦情や相談、第三者評価の受審結果をわかりやすいところに設置している</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>経営については、公認会計士の助言を受けながら業務を遂行し、毎年、職員に向けての決算報告を実施し、日本財団のホームページ上でも閲覧できるように体制を整えている。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		自己評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>園外へ積極的に散歩に出かけ、地域の方々へ挨拶をしたり話を聞いたりする機会を設けている。また、近くの高齢者施設のと交流も行っている</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>ボランティア受け入れマニュアルを整備し、職員がすぐに関覧できるようにしている。また、ボランティアの受入も積極的に行っている。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>関係機関について一覧表を作成し、必要に応じて、連携を図っている。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>一時保育を積極的に受け入れ、地域の子育て支援に貢献できるように体制を整えている。</p>		

27	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	Ⓐ・b・c
評価概要 地域の福祉ニーズの把握に努めている。また、世代間交流を実施している。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

		自己評価結果
Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
評価概要 虐待防止マニュアルを作成し、職員に周知している。また、権利擁護の研修会に参加するなどしている。		
29	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	Ⓐ・b・c
評価概要 内規を作成し、マニュアルに沿ったサービス提供を行っている		
Ⅲ－１－（２） 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ－１－（２）－① 利用者希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
評価概要 ホームページに日々の活動について掲載したり、入園前や一時保育利用前に見学に来ていただき、保育の様子や運営方針などを説明している。		
31	Ⅲ－１－（２）－② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	Ⓐ・b・c
評価概要 入所前に必ず、入園のしお리를ういて説明を行い、後日、不明な点があれば連絡をいただくようお願いをしている。		
32	Ⅲ－１－（２）－③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・b・c
評価概要 卒園・転園の場合には、保育要録を作成し送付を行っている。また、小学校への就学については、小学校との連絡会に出席し、申し送りを行っている。家庭への移行にあたっては、一時保育での継続利用についての説明を行っている。		
Ⅲ－１－（３） 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ－１－（３）－① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c
評価概要 本年度は年に4回の保育参観を計画し、保護者と職員が直接対話ができるようにしている。また、毎年1回保護者にアンケートを行い、アンケート結果に基づき、次年度の運営に反映している。		

Ⅲ－１－（４） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ－１－（４）－① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>苦情解決のための体制を整え、保護者の目につく場所に掲示し、入所前の面談でも説明を行っている。</p>		
35	Ⅲ－１－（４）－② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>保護者が送迎の際に、保育者に声をかけやすいように配慮している。また、意見箱を設置している。また、年に1回運営についてのアンケートを実施して、保護者からの意見をうかがうようにしている</p>		
36	Ⅲ－１－（４）－③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>意見箱にいただいた意見や直接いただいた意見などは、早急に検討し、対応策を掲示している。</p>		
Ⅲ－１－（５） 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ－１－（５）－① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>事故報告・ヒヤリハット報告については、一覧表の作成と月別の事故内容や発生時間帯等の集計を行い、職員間で情報を共有している。</p>		
38	Ⅲ－１－（５）－② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>感染症に対するマニュアルを作成し、感染症が発生した場合には全職員・全保護者へ連絡し、日々の発生状況についてお知らせする。</p>		
39	Ⅲ－１－（５）－③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>災害時対応マニュアルを作成し、毎月の避難訓練で様々な設定を想定して対応について確認している。</p>		

Ⅲ－２ 福祉サービスの質の確保

		自己評価結果
Ⅲ－２－（１） 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ－２－（１）－① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>標準的な実施方法については、マニュアルを作成し、職員がすぐに手に取って見れるようにしている。</p>		

41	Ⅲ－２－（１）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉠・b・c
<p>評価概要</p> <p>職員間で、日々の業務の間に不都合が生じた際には、見直しを行っている。また、保護者からいただいたご意見なども参考にし、見直しを行っている。</p>		
Ⅲ－２－（２） 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ－２－（２）－① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	㉠・b・c
<p>評価概要</p> <p>個人の発達に合わせて保育計画を作成している。</p>		
43	Ⅲ－２－（２）－② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	㉠・b・c
<p>評価概要</p> <p>毎月の保育計画の作成にあたり、前月の子ども達の姿をもとに職員間で検討し、作成を行っている</p>		
Ⅲ－２－（３） 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉠・b・c
<p>評価概要</p> <p>毎月の月案については、ミーティング資料として提出し、各クラスへ回覧している。また、未満児については、キッズビューを活用して日々の子どもの様子を知ることができる。</p>		
45	Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	㉠・b・c
<p>評価概要</p> <p>記録の保管期間を規程で明確にし、職員へ周知し、適切な管理が行えるように配慮している。</p>		

福祉サービス第三者評価基準

(様式2)

【 保育所版 】

〔H23改訂版〕

評価対象Ⅳ

A-1 保育所保育の基本

A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		自己評価結果
A-1-(1)-①	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	○ a・b・c
A-1-(1)-②	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	○ a・b・c
A-1-(1)-③	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	○ a・b・c
A-1-(1)-④	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	○ a・b・c
A-1-(1)-⑤	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	○ a・b・c
評価概要 保育士間でのミーティングを行い、保育課程を作成し、必要に応じてミーティングを行い、改善している。0、1才児については明るく広い保育室で、ずり這い、ハイハイなどが行えるように心がけている。また、離乳や食事については、保護者や栄養士と連携を図り、子どもの発達に合わせて実施している。避難車を使用して、お散歩にも積極的に出かけるようにしている。クラス活動だけでなく、グループ活動を行うことで、小集団の中で保育士と関わり自己主張ができるようにしている。縦割り・横割りを組み合わせて、子ども達の発達状況に合わせた活動を行えるようにしている。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育		自己評価結果
A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	○ a・b・c
A-1-(2)-②	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	○ a・b・c
A-1-(2)-③	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友達との協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	○ a・b・c
A-1-(2)-④	子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	○ a・b・c
A-1-(2)-⑤	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	○ a・b・c
評価概要 2才児以上は、縦割りの環境の中で、生活の中で必要な事は手助けをしあいながらともに成長できるように配慮している。また、天候に応じて朝と夕方に園庭へ出て遊べるようにしている。また、近くに公園がないので、少し遠い公園まで遊びに行くことで、交通ルールを守ることを学んだり、地域の方々と接する機会を持っている。毎日のカリキュラムの中で、掃除する事や社会のルール、友だちに対する思いやりを学べるように計画を立てている。		

A-1-(3) 職員の資質向上		自己評価結果
A-1-(3)-①	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>毎月のミーティング資料の中に、保育士それぞれの1か月の自己評価を記載するようにし、また資料として配布すること、回覧することで情報の共有を図っている。</p>		

A-2 子どもの生活と発達

A-2-(1) 生活と発達の連続性		自己評価結果
A-2-(1)-①	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	Ⓐ・b・c
A-2-(1)-②	障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	Ⓐ・b・c
A-2-(1)-③	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>一人一人の成長や家庭環境を考慮し、毎月の個人計画を作成し、必要に応じ見直しを行い、関係機関への相談を行ったり、研修に積極的に参加している。</p>		
A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		自己評価結果
A-2-(2)-①	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	Ⓐ・b・c
A-2-(2)-②	食事を楽しむことができる工夫をしている。	Ⓐ・b・c
A-2-(2)-③	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	Ⓐ・b・c
A-2-(2)-④	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>年に1回児童票の更新を行い、予防接種の状況等を把握している。食事については、給食は子ども達が自分で食べられる量を学ぶために、配膳の際に自分自身で食べる量を決めるようにしている。また、異年齢で食べたり、クラスでの交流ができるように食事を行っている。食事の際には、調理員・栄養士も一緒に食事を摂ることで、子ども達の食事の状態を毎日見ている。食育の中で、自分たちで栽培した野菜を収穫し、給食で提供したり、様々な食材に触れることができるように計画を立てている。内科健診・歯科健診はそれぞれ年2回実施し、結果については、保護者への報告、職員間での共有を行っている。</p>		

A-2-(3) 健康及び安全の実施体制	自己評価結果
A-2-(3)-① アレルギー疾患、慢性疾患等を持つ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	(a)・b・c
A-2-(3)-② 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	(a)・b・c
評価概要 食物アレルギーについては、主治医の指示の下、除去食を提供し、必要に応じて、栄養士と保護者、保育士で話し合いの場を持ち、食事を提供している。また、体調に応じて主食を軟飯に変更する等、登園時の保護者との申し送りの際に連携を図っている。衛生管理については、施設長と栄養士を中心に行っている。	

A-3 保護者に対する支援

A-3-(1) 家庭との緊密な連携	自己評価結果
A-3-(1)-① 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	(a)・b・c
A-3-(1)-② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	(a)・b・c
A-3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	(a)・b・c
A-3-(1)-④ 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	(a)・b・c
評価概要 食育カリキュラムでは、保育士と栄養士が協力して年間カリキュラムを作成している。また、毎月給食ミーティングと食育ミーティングを行い、子ども達の状況に合わせて食事の提供の仕方やカリキュラム内容についての検討を行っている。保護者へ連絡帳の確認、記載のお願いをし、日々の保育の様子については、玄関ホールに掲示している。また、個別に相談がある方については、送迎時にゆっくりと話ができるように配慮している。年に4回の保育参観を計画し、子ども達の活動を見る機会や保育内容について知っていただく機会を設けている。虐待防止マニュアルを作成し、保育者の理解を深めている。	